

ROYAL CHAMBER ORCHESTRA

(財)茨木市文化振興財団第22回公演

茨木に生まれ育ち、今、世界へ飛翔する“堤 俊作”と“岸本 力”——
初の共演は、ふるさとへの讃歌となって奏でられる——

つつみ しゅん さく
堤 俊作 / 指揮

ロイヤルチェンバーオーケストラ

さし もと ちから
～バス歌手・岸本 力とともに～



バス◎岸本 力 KISHIMOTO Chikara



指揮◎堤 俊作 TSUTSUMI Shunsaku



管弦楽◎ロイヤルチェンバーオーケストラ

●プログラム

モーツァルト：歌劇《魔笛》序曲

ヘンデル：ラルゴ

モーツァルト：歌劇《ドン・ジョヴァンニ》から
レポレロのアリア“カタログの歌”

ロッシーニ：歌劇《セビリヤの理髪師》から
バジリオのアリア“かげぐちはそよ風のように”

モーツァルト：歌劇《コシ・ファン・トゥッテ》序曲

チャイコフスキー：歌劇《エフゲニー・オネーギン》から
グレン公のアリア“恋にはどんな年齢にも勝てない”

ムソルグスキー：蚤の歌

ベートーヴェン：交響曲第5番ハ短調作品67《運命》

松下眞一：茨木讃歌

1999年

7/10 (土)

18:30開演 (18:00開場)

**茨木市市民会館
大ホール**

茨木市駅前四丁目7番50号

阪急茨木駅から西へ徒歩10分 JR茨木駅から東へ徒歩10分

■入場料 [全席指定席]

1階席：一般＝4,000円

割引＝2,500円

2階席：一般＝3,000円

割引＝2,000円

※割引対象：24歳以下、65歳以上、障害者及びその介護者の方
※就学前のお子様のお入りはご遠慮ください

■チケット販売所 [4/16発売]

(財)茨木市文化振興財団

☎0726-25-3055

※割引チケットは文化振興財団のみの取り扱いです

ローソンチケット [Lコード：54043]

☎06-6369-6633

チケットぴあ

☎06-6363-9999

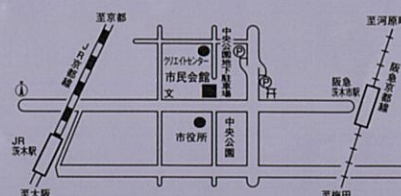
■お問い合わせ・電話予約

☎0726-25-3055

(財)茨木市文化振興財団

月～金/9:00～17:15 [土・日・祝日は休業]

〒587-0888 茨木市駅前四丁目6番16号
クリエイティブセンター1F



主催＝茨木市・茨木市教育委員会・(財)茨木市文化振興財団

ROYAL CHAMBER ORCHESTRA

(財)茨木市文化振興財団第22回公演

堤 俊作 指揮/ロイヤルチェンバーオーケストラ~バス歌手・岸本 力とともに

1999年7月10日(土) 18:30 茨木市市民会館大ホール

堤 俊作 TSUTSUMI Shunsaku

1946年12月茨木市に生まれる。茨木市立中条小学校、養精中学校卒業。桐朋学園子供のための音楽教室、同高校音楽科を経て、1970年桐朋学園大学を首席で卒業。在学中は指揮を斉藤秀雄に師事、同時にコントラバスを専攻。

1971年東京交響楽団副指揮者に就任。同年プッチーニのオペラ《修道女アンジェリカ》を指揮。1972年、ブルックナー《交響曲第4番》を指揮してオーケストラ指揮者としてデビュー。1973年から1977年まで正指揮者を務めた。1974年、ロンドンのルパート指揮者コンクールで第3位。1978年、ジュネーブの第1回アンセルメ国際指揮者コンクールで優勝。

1975年、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団を創立し、1992年まで17年間にわたって常任指揮者を務めた。1988年に札幌交響楽団専属指揮者となり、ベストセラーとなった札幌初のCD「チャイコフスキー《交響曲第5番》」の録音発売、三枝成彰《ヴァイオリン協奏曲》の委嘱、札幌の東南アジア演奏旅行を成功に導くなど、1992年の退任までの間に数々の成果をあげた。

国際的にも幅広く活動しており、ロンドン交響楽団、スイス・ロマンド管弦楽団、ソフィア・フィルの指揮をはじめ、欧米のオーケストラや音楽祭にも度々出演。1991年3月にはメータの代わりにベネズエラ国立シモンボリーバル交響楽団を指揮、4月には同交響楽団を率いて日本公演を行い、大成功を収めた。

1988年エディンバラ音楽祭で森下洋子主演によるアダンの《ジゼル》、1991年松山バレエ団のニューヨーク、ワシントン公演、1992年松山バレエ団北京・上海公演、1992年・1994年・1996年、レニングラードバレエシアターの公演を指揮するなど、バレエ音楽の指揮でも国際的な名声を得、第一人者として舞踊家・振付家から絶大な信頼を得ている。オペラにおいても《売られた花嫁》《アルジェのイタリア女》《羊飼いの王様》等の本邦初演を指揮するなど、幅広いレパートリーを持っている。

1993年、ロイヤルチェンバーオーケストラを創立するとともに、これを核に1997年、デビュー25周年の年にロイヤルメトロポリタン管弦楽団を創立、全7回の25周年記念公演を行った。

現在、ロイヤルチェンバーオーケストラ・ロイヤルメトロポリタン管弦楽団音楽監督、静岡交響楽団音楽監督、関西フィル指揮者、大阪市音楽団芸術顧問・首席指揮者、梓室内管弦楽団音楽監督、岐阜国際芸術祭芸術監督、大阪国際室内楽コンクール審議委員、牧阿佐美バレエ団音楽監督、井上バレエ団音楽監督、桐朋学園大学講師、尚美学園客員教授。



岸本 力 KISHIMOTO Chikara

1947年9月茨木市に生まれる。茨木市立福井小学校、養精中学校、大阪府立春日丘高等学校卒業。

1972年、東京芸術大学卒業、第41回日本音楽コンクール（毎日新聞社、NHK共催）第1位、第17回海外派遣コンクール特別賞。

1973年、東芝制作によるレコード「森の歌」（ジョスタコーヴィチ）にバス・ソロとして出演。（外山雄三指揮、大阪フィルハーモニー交響楽団）

1974年、東京芸術大学大学院修了、第5回チャイコフスキー国際コンクール最優秀歌唱賞。1976年、文化庁在外研修員として、イタリア・オーストリアに留学。1977年、ローマ・サンタ・チェチーリア・アカデミー修了、第33回ジュネーブ国際コンクール銀賞。第28回ヴィオッティ国際コンクール銀賞。

1984年、第4回リサイタル《ジョスタコーヴィチ歌曲の夕べ》（東京文化会館小ホール）で文化庁芸術祭賞受賞。

柴田睦陸、小野光子、須賀靖元、浦山弘三、ジョルジョ・ファバレット、マリア・カルポーネ、エレナ・オブラフツォワの各氏に師事。

1993年、《タン・ドゥン》の世界初演にバス・ソロとして出演。（秋山和慶指揮、東京交響楽団）

1994年、CD「ドン・キホーテのセレナーデ」制作。全音楽譜から「ムソルグスキー歌曲集」、ジョスタコーヴィチ「10の詩曲」「10のロシア民謡集」「忠誠」を出版。

1999年10月28日リサイタルを開催する予定（東京文化会館小ホール）。

オペラ出演の主なものとしては、ザラストロ、アルフォンソ、バルトロ、オスミン、バジリオ、ロドルフォ伯爵、カッペッリオ、サリエリ、青ひげ公、ヌーラバット、ファルスタッフ、フィリッポⅡ世、フィエスコ、ティムール役などがある。

コンサートでは、「第九」「森の歌」のバス・ソロの他、NHKTV、ラジオなど多くに出演。ロシア音楽をライブワークにしており、バスの俊英として世界に飛翔しようとしている。

武蔵野音楽大学、東京コンセルヴァトワール尚美各講師。日本音楽コンクール審査員。日本・ロシア音楽家協会会員。二期会会員。

ロイヤルチェンバーオーケストラ ROYAL CHAMBER ORCHESTRA

ロイヤルチェンバーオーケストラ（素晴らしい人びとによるオーケストラ）は、1987年に結成された「梓室内管弦楽団（楽団長は皇太子殿下）」に参加しているプロの演奏家と、「サイトウ・キネン・オーケストラ」の若手メンバー、さらに内外の一流オーケストラで活躍した経験のある音楽家を集めて、堤俊作が1993年に結成した室内オーケストラである。

当初は、皇太子殿下ご成婚記念のCD録音（ポニーキャニオン）や、岐阜国際芸術祭20周年記念コンサート（岐阜、倉吉、清水）、林峰男20周年記念チェロ協奏曲の夕べ（カザルスホール）等の限られた活動であったが、1997年からは意欲的に演奏会を開催し、東京・大阪を中心に7回の公演を行っている。

また、大編成の曲については、ロイヤルチェンバーオーケストラを母体としたロイヤルメトロポリタン管弦楽団を編成し、2回の演奏会を行った。

現在までに、マリオ・デリ・ボンティ、ハイディ・リチャウアー、ドゥヴィ・エルリ、ゲイリー・カー、イワン・ドレンニコフ、ジェシー・チェチ、ディートヘルム・ヨナス等とも共演し、その精緻なアンサンブルは、共演したソリスト達から最高の評価を得ている。

ロイヤルチェンバーオーケストラは、「ウィーン・フィル」を範として、豊かで色彩に富んだ音色と、明快なアーティキュレーションによる正統な演奏をめざしている。また歴史的解釈を踏まえ、ヨーロッパの伝統に可能な限り近づくと、真のオーケストラのあり方を追求しており、21世紀において世界に飛翔することが大いに期待されるオーケストラである。

